

「わたしたちの横浜」～横浜はどのような町でしょう

イメージをつかむ

● 「わたしたちの横浜」

- ・本冊を読んで、自分の住む町の歴史を知る。
- ・町に残る「歴史の足跡」を知ることから、住む町への愛着を持つ。
- ・町の中の建造物から町のイメージをつかみなおす。

体験・行動する

■ 活動シート

- ・活動 1 － 横浜の歴史を学びましょう。
- ・活動 2 － 現代の横浜の中にある「昔」をさがしましょう。
- ・活動 3 － 横浜にある博物館や資料館に行ってみましょう。

ことば・表現を知る

◆ ことば・表現シート

「わたしたちの横浜～書き換え版」内容理解に役立つ用語説明

発展的な行動

・発展的な活動

「ふるさと」の歴史を、友だちに話しましょう。

取り上げる生活上の行為の事例

- ・自分の住んでいる町を散策する。
- ・身近なところにある「建造物」などから歴史を知る。
- ・自分の住んでいる町を語りあう。

教室活動の目標

- ・町の中の建造物が歴史の名残であることを知る。
- ・今住んでいる町への愛着を芽生えさせる。
- ・自分の住んでいた町のことや歴史のことを友だちに話す。

教室活動のねらい

- ・「今の町」の中にある「おかし」を知ることで、自分が住んでいる横浜への関心を高める。
- ・今住んでいる町について友だちと共通知識を得ることから、コミュニケーションを円滑にする。
- ・自分が住んでいた町のことや歴史のことを友だちに話すことで、お互いの理解を深める。

いめーじ
《 イメージをつかむ 》

よこはま よ まち れきし り かい
● 「わたしたちの横浜」を読んで、町の歴史を理解しましょう

(1) これは、なんでしょう。

A



の げざかした
野毛坂下

B



なか く かんない ほー る まえ
中区関内ホール前

C



なか く やましたこうえん
中区山下公園

D



なか く かんないえきちか
中区 J R 関内駅近く

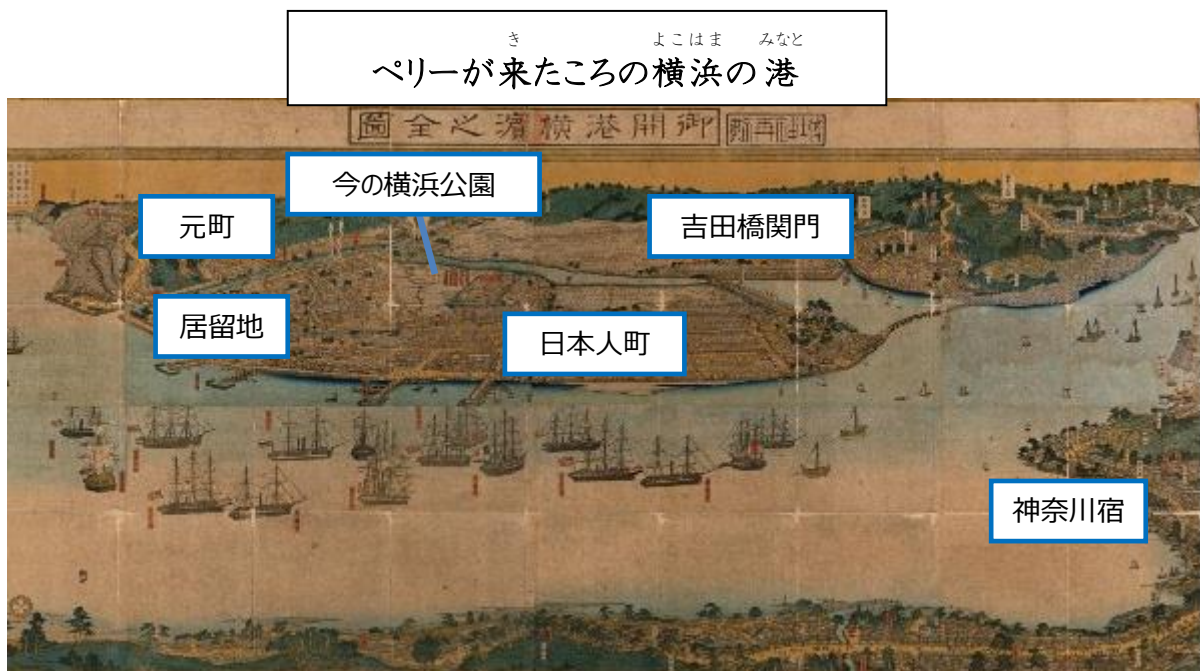
(2) A～Dは、^{つぎ}^ち^ず次の地図の①～⑧の、どこにあるでしょう。



たいけん こうどう
《 体験・行動する 》

かつどう よこはま れき し まな
■活動 1 – 横浜の歴史を学びましょう

いま おかし
(1) 今と昔を、くらべてみましょう。



「御開港横浜之全図 増補再刻」(横浜市中央図書館蔵)

(2) ^{なに}何がちがいますか。

^きペリーが来たころの日本(横浜)



^{むかし}昔は？ ^{いま}今は？

^{ふくそう}
① 服装は

^{むかし}
昔は…

^{いま}
今は…

^{かみがた}
② 髪型は

^{むかし}
昔は…

^{いま}
今は…

^{の もの}
③ 乗り物は

^{むかし}
昔は…

^{いま}
今は…

④ は

^{むかし}
昔は…

^{いま}
今は…

たいけん こうどう

《 体験・行動する 》

かつどう

げんだい

よこはま

なか

むかし

■活動2 ー現代の横浜の中にある「昔」をさがしましょう

(1) これは、なんでしょう。 いつごろできたのでしょうか。

A



B



C



D



よこはま れき し ねんびょう つく
 (2) 横浜の歴史年表を作ろう (本冊13～16ページ)
 ほんさつ ページ

	いつ	だれが	なにをした
れい 例	1873 ^{ねん} 年	つつみいそ えもん 堤 磯右衛門が	せつ こうじょう つく 石けん工場 を作りました。
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			

なに い み せんせい とも はな
 ①～⑧が何を意味するのかを、先生や友だちと話してみましょう。

たいけん こうどう
《 体験・行動する 》

かつどう よこはま はくぶつかん し りょうかん い
■活動 3 — 横浜にある博物館や資料館に行ってみましょう

よこはまかいこう し りょうかん
(1) 「横浜開港資料館」

しら
①調べましょう

かいかん じ かん 開館時間	
きゅうかん び 休館日	
にゅうかんりょう 入館料	いっばん えん 一般 _____ 円 / しょうちゅうがくせい えん 小中学生 _____ 円
だんたい にん い じょう (団体20人以上)	いっばん えん 一般 _____ 円 / しょうちゅうがくせい えん 小中学生 _____ 円
も よりえき 最寄駅	

い
②行きましょう！

よこはま しゃしん じつぶつ み
⇒ 「わたしたちの横浜」にある写真の実物を見ましょう。

1. 見る・写真を撮る

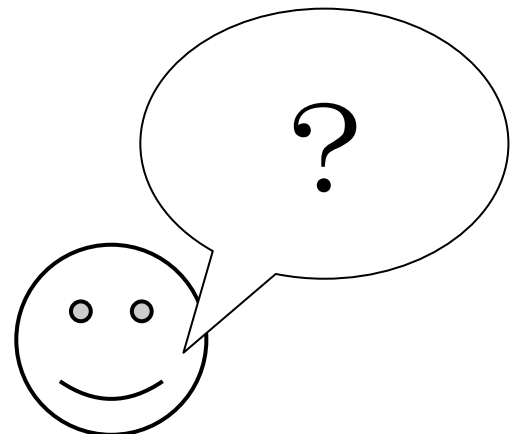
例) 「玉楠の木」…どこにありますか。写真を撮りましょう。

2. 質問する

例) 「横浜開港資料館」は、どうしてこの場所に建てましたか。

・
・
・
・
・

「いちばん印象的だったのは何でしたか」



◆ことば・表現

1. 日本にほんの近代化きんだいか

げんだい にほん かたち
・・・現代の日本はどのように形づくられたのでしょうか。

にほん きんだいか よこはま は れきし てき やくわり なん
・・・日本の近代化に、横浜が果たした歴史的な役割は何でしょう。

2. 文明開化ぶんめいかい

めいじ じだい はじ がいこく ぶんか もの はい にほん おお か
・・・明治時代の初めごろ、外国の文化や物が入ってきて、日本は大きく変わりました。

ようごせつめい
用語説明

●ペリー艦隊がやってきた

艦隊	かんたい
ぐんかん せき い じょう かいぐん あつ 軍艦が2隻以上の海軍の集まり	
開国	かいこく
がいこく こうりゅう ぼうえき はじ 外国と交流や貿易を始めること	
庶民	しょみん
し みん 市民	
測量	そくりょう
き かい き ぐ つか ち ひょう きょり めんせき はか 機械や器具を使って、地表の距離やかたち、面積を測ること	
鎖国	さこく
がいこく こうりゅう ぼうえき 外国と交流や貿易をしないこと	
幕府	ばくふ
ぶ し しゃかい せい じ おこな 武士の社会で政治を行うところ	
将軍	しょうぐん
ばく ふ なか いちばんうえ ひと 幕府の中で一番上の人	
もてなし	
きゃくさま よろこ お客様が喜ぶようにいろいろなことをすること	

和親条約	わしんじょうやく
がいこく した こうりゅう じょうやく 外国と親しく交流するための条約	
締結	ていけつ
じょうやく おす 条約を結ぶこと	
応接所	おうせつじょ
きゃくさま あ ばしょ お客様と会う場所	
漂流民	ひょうりゅうみん
ふね なが じこく かえ ひと 船が流されて、自国に帰れない人	
修好通商条約	しゅうこう つうしょう じょうやく
ぼうえき じょうやく 貿易をするための条約	

● あんせい ねん がつふつか よこはまかいこう
安政6年6月2日～横浜開港～

開港場	かいこうば
かいこう ばしょ 開港する場所	
大老	たいろう
え だ ばくふ しょうぐん たす し ごと なか いちばんうえ ひと 江戸幕府で、将軍を助ける仕事をする中で一番上の人	
朝廷	ちやうてい
くんしゅ せいじ おこな え だ じだい てんのう せいじ おこな きやうと 君主が政治を行うところ。江戸時代は天皇が政治を行った京都にあった	

商船	しょうせん
ぼうえき おこな ふね 貿易を行 う 船	
旧暦	きゅうれき
めいじ まえ つか こよみ 明治より前に使っていた 暦（カレンダー）	
関門	かんもん
とお きょ か ひつよう そこを通るのに許可が必要なところ	
奉行所	ぶぎょうしょ
ぶし じだい やくしょ 武士の時代の役所	

● よこはまものはじめは横浜から

開港	かいこう
みなと がいこく ぼうえき がいこく ぼうえき みなと かいほう 港を外国と貿易できるようにすること。外国との貿易をするために、港を開放すること	
製鉄所	せいてつじょ
てつ つく こうじょう 鉄を作る工場	
技師	ぎし
せんもんてき ぎ じゆつ も し ごと ひと 専門的な技術を持って、仕事をしている人	
輸入	ゆにゅう
がいこく もの か 外国から物などを買うこと	

網元	あみもと
じぶん ふね あみ も りょう し なか うえ ひと 自分の船や網を持っていて、漁師の中で上の人	
鯨油	げいゆ
あぶら クジラからとった油	
石炭酸	せきたんさん
しょうどくざい げんりょう フェノール（消毒剤などの原料）	
軍艦	ぐんかん
せんそう ふね 戦争のための船	
埋立地	うめたてち
うみ かわ つち う りく ち 海や川を土で埋めた陸地	
居留地	きよりゅうち
ぼうえき おこな がいこくじん す ゆる と ち 貿易を行うために外国人が住むことを許された土地	
乗合馬車	のりあいばしゃ
うま くるま ひ ひと の くるま いま 馬が車を引いて、たくさんの人が乗る車。今のバスのようなもの	
断髪令	だんぱつれい
き かみ みじか めいれい ちょんまげを切って髪を短くする命令	
トラス構造	とらすこうぞう
てっきょう つく しゃしんさんしょう 鉄橋を造るときのかたちのひとつ（写真参照）	

はってんてき かつどう
■ 発展的な活動

1. あなたの^す住んでいた^{まち}町・ところはどこですか。

2. それは、あなたの^{くに なか}国の中のどこにありますか。^{ち ず せつめい}地図で説明しましょう。

3. あなたの^す住んでいた^{まち}町・ところに、^{ゆうめい}有名なものはありますか。

4. あなたの^す住んでいた^{まち}町・ところの^{れきし しら}歴史を調べてみましょう。

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- ① 町の歴史を学ぶ。
- ② 町の中にある「昔」を探す。

教室活動の目標

住んでいる町の歴史を知ることから、町への関心を深め、友だちと共通する知識を得てコミュニケーションを深める。

教室活動のねらい

- ・ 「わたしたちの横浜」書き換え版を読んで、内容を理解する。内容を整理して、この時代の日本の状況について知識を得る。
- ・ 写真から世の中が変化していったことをつかみ取って、時代の変化を文章にすることから自分の言葉で説明できるようになる。
- ・ 自分で本冊の内容を見る・確認するために、行動する。

活動前に確認しておくこと

- ・ 子どもたちが住んでいた町・所がどのようなところだったのか調べておく。
- ・ 子どもたち自身が資料館等の見学に行くことができるのか確認する。教室活動として、見学を企画することも視野に入れる。

準備する素材

- ・ 「私たちの横浜」書き換え版に取り上げた時代を説明する資料を準備する。
- ・ 横浜の地図
- ・ 現代の横浜を撮った写真

教室活動展開の説明

イメージをつかむ

「わたしたちの横浜」の読解

江戸時代から明治時代にかけて世の中は大きく変わりました。その変化の「足跡」が横浜にはたくさんあります。今の近代的な都市としての横浜だけではなく、その歴史を学ぶことから、横浜に対する関心を高めましょう。

（子どもたちへの質問）

「横浜にはどのようなものがありますか。」

「(写真を見比べて) 今の横浜と昔の横浜は、何か違いますか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・活動1 — 横浜の歴史を学びましょう

(1) 横浜は「近代的な町」です。その横浜が歩んできた歴史を学びましょう。

今日で見ることのできる環境からだけでは、「気づきにくいこと～町の歴史」を学びましょう。

(2) その時に、横浜がどのような町であったのかを知ることから、「昔」と「今」を結び付けて理解しましょう。

日本の江戸時代の末期は、世の中が大きく変わった時期です。

例) 町の人々の服装や髪形は今と同じですか。

このころの日本人は、外国人(アメリカ人)とどこが違いますか。

気づいたことを話しましょう。

「ちょんまげ」や「着物」から、「短髪」「洋服」への変化に着目する。

いつごろから、横浜の町の人々は「今の服装」に変わっていったのでしょうか。

例) 町の中の乗り物はどう違いますか。

写真の中の違いに気づきましたか。

船・汽車が今の船や列車と同じでしょうか。

体験・行動する**■ 活動シート****・活動2 — 現代の横浜の中にある「昔」をさがしましょう**

本冊の中の記念碑(町の中にある、出来事などを後世に伝えるために建てた「いし」)などを見たことがありますか。子どもたちが町の中の様々なものに関心を持っているのか確認します。

これらは、町の中にあります。家の人といっしょに探してみることを提案します。あるいは、教室活動として「社会科見学」を企画します。

(1) これは何でしょう。いつごろできたのでしょうか。

※これが何か。「イメージをつかむ」より、さらに深める。

「イメージをつかむ」では、場所の確認だけでしたが、本冊を読むことで、いつごろできたのかを理解させます。まとめるのは次の作業です。

(2) 横浜の歴史年表を作ろう。 (本冊 13～16 ページ)

① ～⑧が何を意味するのかを、先生や友だちと話してみましょう。

知識をもとに会話をさせます。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動3 ― 横浜にある博物館や資料館に行ってみましょう

(1)「横浜開港資料館」

①調べましょう

手段として、どうやって調べるか子どもたちに質問します。

- ・電話で聞いてみる
- ・インターネットを活用する
- ・先生に質問する

②行きましょう

1. 見る・写真を撮る

例)「玉楠の木」…どこにありますか。写真を撮りましょう。

実際に活動して自分の目で確かめることで、町の様子の理解を深めることを目的とします。

2. 質問する

例)「横浜開港資料館」は、どうしてこの場所に建てましたか。

発展的な活動

発展的な活動として、自分の住んでいた環境について話をします。

- あなたの住んでいた町・ところはどこですか。

・・・友だちとのコミュニケーションのきっかけづくりをしましょう。

- それはあなたの国の中のどこにありますか。地図で説明しましょう。

・・・母国への関心を友だちに持ってもらうために、資料を準備しましょう。

- あなたの住んでいた町・ところに、有名なものはありますか。

・・・自分の国の歴史などにつながるものがあるのか、調べてそれを発表します。

- あなたの住んでいた町・ところの歴史を調べてみましょう。

・・・母国の学校で学んだ知識をもとに、さらに自分の国についての理解を深めます。